

生涯学習推進協力員制度の見直しについて

1 令和4年度第1回生涯学習推進協議会での意見

- (1) 生涯学習推進協力員（以下「協力員」という。）が活動する単位は、まちづくり協議会単位でもよいが、それができるまでの間はどうか。
- (2) 協力員が活動する単位が広がりすぎても、役割が大きくなり、活動しにくい場合もあるのではないかと。区・自治会単位の方が活動しやすい場合もあるのではないかと。
- (3) 協力員の役割を明確に整理すべき。夏祭りや文化祭の準備を協力員が行わなければならない等役割があまり重すぎると、なり手がなくなる。学習情報の提供といった役割でもよいのではないかと。
- (4) いくつかの地区公民館では、活発に活動が行われている。そういう地域には、協力員は必要ないのではないかと。

2 地区公民館等における活動の現状（区・自治会長への聞き取り調査から）

- (1) 夏祭り等の自治会行事を企画運営していた組織が高齢化により解散し、全ての年中行事を実施していくことが困難になってきている。
- (2) 地区公民館では、昔に比べ活発な活動は行われていない。自治会イベントを担当する役員のなり手不足で徐々に活動が減ってきている。
- (3) 高齢者層を中心に文化系や体育系サークル・団体の自主的な活動が継続的に行われている地区公民館もある。

3 生涯学習推進協力員制度の課題

- (1) まちづくり協議会が設立されるまでの間は、協力員の活動の単位をどうするのか。
- (2) 区・自治会単位の方が活動しやすい場合もあるが、区・自治会では協力員のなり手が不足している。
- (3) 協力員の役割が不明確で、役割があまりに重すぎる。

4 生涯学習推進協力員制度 見直しの方向性

(1) 活動の単位

現行 区・自治会 単位

案1 まちづくり協議会・小学校区 単位

案2 複数の区・自治会が集まる 単位

案3 区・自治会 単位

(2) 役割

現行 ア 学習意欲を喚起する。

イ 個人、グループ、団体等の学習活動を支援する。

ウ 学習情報の収集及び提供、学習相談に応ずる。

エ その他生涯学習推進のための活動に協力する。

案1 活動の単位内での生涯学習の企画立案

案2 活動の単位内での学習情報の提供

区・自治会長への聞き取り調査

各地域で活発に活動されているヒントを得るため、令和5年2月10日に区・自治会長の聞き取りを実施

【A自治会】

体育振興会（区民の有志により結成されている会）が長年にわたり、夏祭りや子ども会イベント等様々な年中行事を企画運営してきた。

しかし、体育振興会のメンバーが高齢のため令和4年度に解散となり、今年度は、その代わりに区の役員が手探りで夏の行事だけは企画から運営まで実施したが、今まで体育振興会が行ってきた全ての年中行事を行うことは困難になっている。

【B自治会】

地区公民館では、老人会の体操や子ども会活動を行っているが、昔に比べ活発な活動は行われていない。役員のなり手不足で徐々に行事が減ってきている。補助金など予算が多くあれば、もっと活動が増えるのでは。

【C自治会】

地区公民館では、以前は様々な利用があったようだが、現在は老人会のいきいき体操や子ども会活動等が年数回行われている程度で、サークル活動等定期的な利用はない。

時々大学生が利用しているが、自治会活動に関わることはない。

【D自治会】

現在、登録サークルが文化系、体育系合わせて20団体ある。新たな登録サークルができたりもしている。自治会から各サークルに対して助成金を出しており、その条件として自治会活動に協力することとしている。

各サークルはそれぞれ代表者が中心に運営している。これらの登録サークルは個々に活動しており、全体をまとめるコーディネーター役などはない。

サークルのメンバーは高齢者層が中心となっている。D自治会以外の方が所属しているサークルもある。

現役世代からは、自分たちの年齢層向けのサークルが欲しいという要望もあるが、実現できていない。

今後は、独居老人などを公民館に来てもらうことを目的にしたサロン（コーヒー、お菓子なども提供）の立ち上げを検討している。

活発なサークル活動が行われている要因は、歴代の自治会役員が積極的に活動を支援してきた積み重ねが、今につながっているのでは。

【E 自治会】

老人会や女性部の文化系、体育系の団体が多数活動しており、邦楽サークルでは、三味線の講師を招いて勉強したりしている。

民生委員や社協委員は独居老人などを対象にしたサロンのような催しを行っている。

各サークル、団体の活動にあたっては、全体をまとめるコーディネーター役がいるわけではないが、昔から、文化活動等を活発にしていこうという気運があり、区の役員も2年任期のため、しっかりとした引継ぎが行われており、そういった継続的な活動が、現在の活発な状態に繋がっているのでは。